

【資料 7】

加須市都市計画マスタープラン策定業務
市民アンケート調査報告書
(概要版)

令和 7 年 3 月

加 須 市

目 次

1. 市民アンケート調査概要.....	1
1-1. 目的.....	1
1-2. 調査対象等.....	1
1-3. 送付資料.....	1
1-4. アンケート項目.....	2
1-5. 回答者属性.....	3
2. まとめ.....	7
①市への市民の現状評価について（問1～3）	7
②将来のまちのあり方への要望について（問4～5）	9
③加須市の今後のまちづくり等について（問6～16）	11

1. 市民アンケート調査概要

1-1. 目的

加須市都市計画マスターplanを策定するにあたり、現在の都市づくりに対する評価や将来の都市づくりに対する意向、考え方等を把握することを目的に、アンケート調査方式により市民意向調査を実施しました。

1-2. 調査対象等

調査対象等は、以下のとおりです。

調査対象 : 市内在住の 16 歳以上の市民

対象者数 : 3,000 人

抽出方法 : 住民基本台帳（令和 6 年 10 月 11 日現在）から無作為抽出

調査方法 : 郵送配布・郵送回答及び Web 回答

調査期間 : 令和 6 年 11 月 12 日（火）～12 月 2 日（月）

回 収 数 : 941 通（回収率 31.4%）（郵送 633 通、Web308 通）

1-3. 送付資料

送付資料は、以下のとおりです。

①調査票（あいさつ文入り）（A4・冊子中綴じ 12 頁） 1 部

②Web 用案内資料及び都市計画マスターplan概要説明資料（A4 両面） 1 部

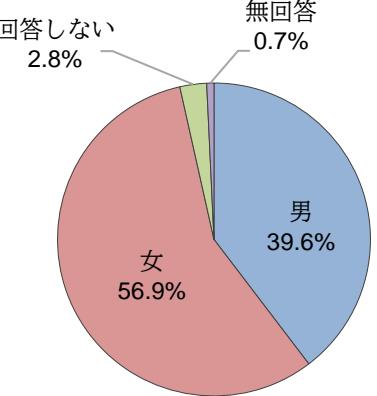
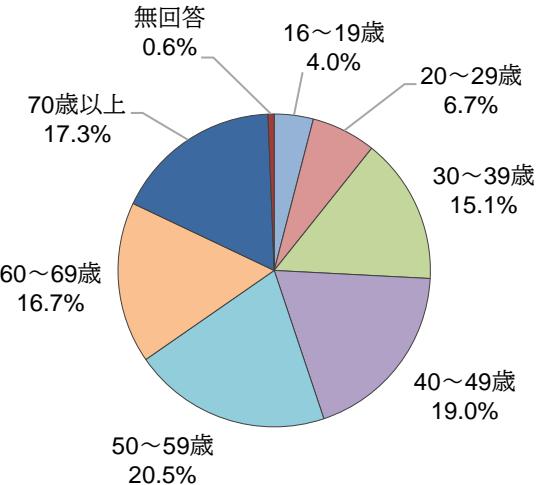
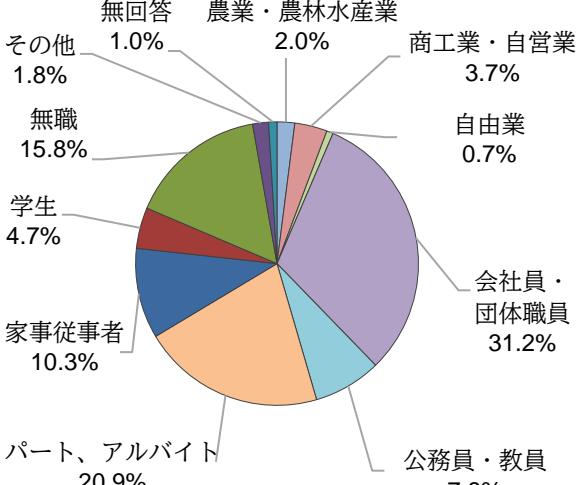
1-4. アンケート項目

アンケート項目は、以下のとおりです。

区分	設問 No	設問内容	回答 形態
1. 加須市での暮らしや生活環境について	問 1	市の良いところ	複数
	問 2	市の良くないところ	複数
	問 3	10 年前との比較	単一
2. 加須市の将来のまちのあり方について	問 4	居住意向	単一
	問 5	重点施策	複数
3. 加須市の今後のまちづくりについて	問 6	土地利用	単一
	問 7	生活を支える施設	単一
	問 8	公共交通①	単一
	問 9	公共交通②	複数
	問 10	景観形成①	単複
	問 11	景観形成②	複数
	問 12	防災対策①	単一
	問 13	防災対策②	複数
	問 14	加須駅周辺の新たなまちづくり	単一
4. その他	問 15	回答者属性	単一
	問 16	まちづくり活動への参加意向	単一

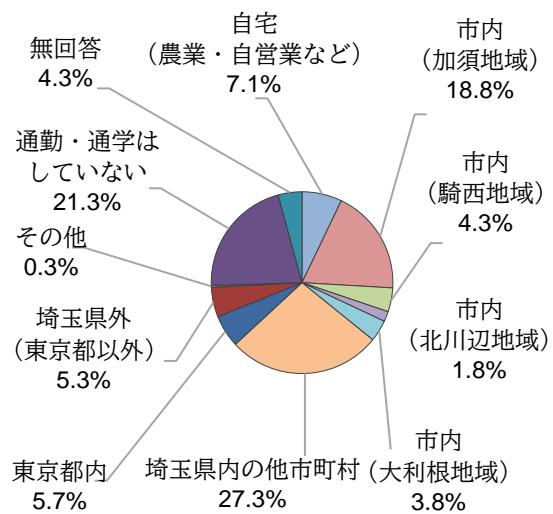
1-5. 回答者属性

今回アンケートにご回答いただいた 941 名の方の属性情報は、以下のとおりです。

<p>①性別</p> <ul style="list-style-type: none">「男性」が 39.6%、「女性」が 56.9%でした。	 <table border="1"><thead><tr><th>性別</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>男</td><td>39.6%</td></tr><tr><td>女</td><td>56.9%</td></tr><tr><td>回答しない</td><td>2.8%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>0.7%</td></tr></tbody></table>	性別	割合	男	39.6%	女	56.9%	回答しない	2.8%	無回答	0.7%														
性別	割合																								
男	39.6%																								
女	56.9%																								
回答しない	2.8%																								
無回答	0.7%																								
<p>②年齢</p> <ul style="list-style-type: none">「50 歳代」が 20.5%で最多でした。概ね市内の年齢別人口比率と同程度の幅広い年代からの回答を得ました。	 <table border="1"><thead><tr><th>年齢</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>16~19歳</td><td>4.0%</td></tr><tr><td>20~29歳</td><td>6.7%</td></tr><tr><td>30~39歳</td><td>15.1%</td></tr><tr><td>40~49歳</td><td>19.0%</td></tr><tr><td>50~59歳</td><td>20.5%</td></tr><tr><td>60~69歳</td><td>16.7%</td></tr><tr><td>70歳以上</td><td>17.3%</td></tr><tr><td>Non-response</td><td>0.6%</td></tr></tbody></table>	年齢	割合	16~19歳	4.0%	20~29歳	6.7%	30~39歳	15.1%	40~49歳	19.0%	50~59歳	20.5%	60~69歳	16.7%	70歳以上	17.3%	Non-response	0.6%						
年齢	割合																								
16~19歳	4.0%																								
20~29歳	6.7%																								
30~39歳	15.1%																								
40~49歳	19.0%																								
50~59歳	20.5%																								
60~69歳	16.7%																								
70歳以上	17.3%																								
Non-response	0.6%																								
<p>③職業</p> <ul style="list-style-type: none">「会社員・団体職員」が 31.2%で最多でした。次いで「パート、アルバイト」が 20.9%、「無職」が 15.8%、「家事従事者」が 10.3%でした。	 <table border="1"><thead><tr><th>職業</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>会社員・団体職員</td><td>31.2%</td></tr><tr><td>パート、アルバイト</td><td>20.9%</td></tr><tr><td>家事従事者</td><td>10.3%</td></tr><tr><td>無職</td><td>15.8%</td></tr><tr><td>学生</td><td>4.7%</td></tr><tr><td>農業・農林水産業</td><td>2.0%</td></tr><tr><td>商工業・自営業</td><td>3.7%</td></tr><tr><td>公務員・教員</td><td>7.8%</td></tr><tr><td>自由業</td><td>0.7%</td></tr><tr><td>その他</td><td>1.8%</td></tr><tr><td>非回答</td><td>1.0%</td></tr></tbody></table>	職業	割合	会社員・団体職員	31.2%	パート、アルバイト	20.9%	家事従事者	10.3%	無職	15.8%	学生	4.7%	農業・農林水産業	2.0%	商工業・自営業	3.7%	公務員・教員	7.8%	自由業	0.7%	その他	1.8%	非回答	1.0%
職業	割合																								
会社員・団体職員	31.2%																								
パート、アルバイト	20.9%																								
家事従事者	10.3%																								
無職	15.8%																								
学生	4.7%																								
農業・農林水産業	2.0%																								
商工業・自営業	3.7%																								
公務員・教員	7.8%																								
自由業	0.7%																								
その他	1.8%																								
非回答	1.0%																								

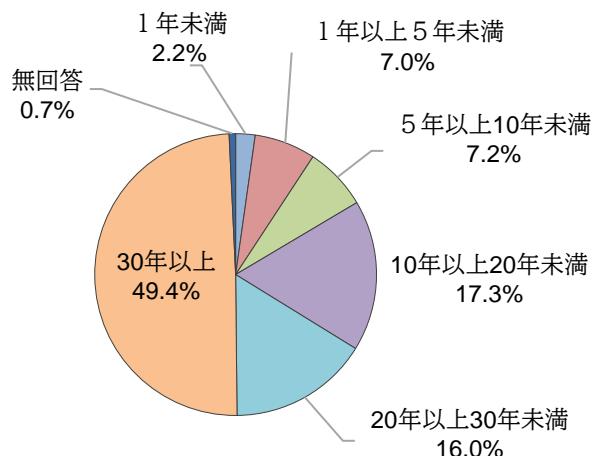
④通勤・通学先

- 「埼玉県内の他市町村」が 27.3%で最多でした。
- 市内への通勤・通学者は、「市内（4 地域合計）」が 28.7%、「自宅」が 7.1%と、計 35.8%でした。
- 埼玉県外への通勤・通学者は、「埼玉県外（東京都以外）」が 5.3%、「東京都内」が 5.7%と、計 11.0%でした。



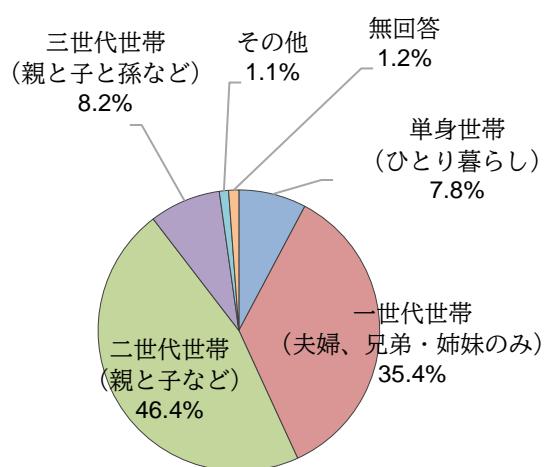
⑤居住年数

- 「30 年以上」が 49.4%で最多でした。
- 10 年未満は計 16.4%、10 年以上が計 82.7%でした。



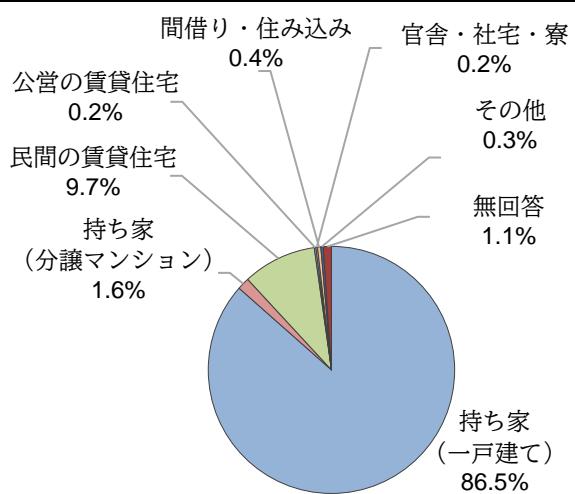
⑥家族構成

- 「二世代世帯」が 46.4%と最多でした。
- 次いで、「一世代世帯」が 35.4%、「三世代世帯」が 8.2%、「単身世帯」が 7.8%でした。



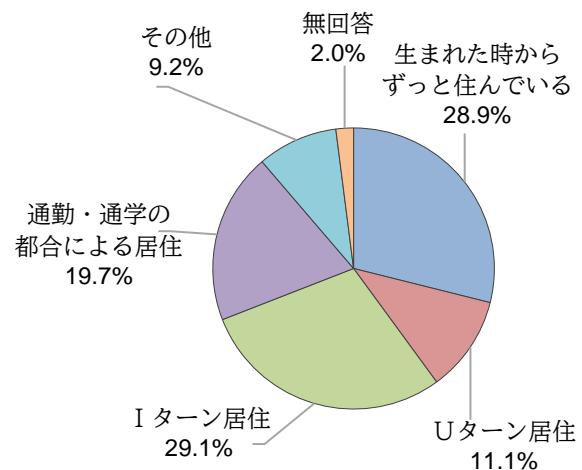
⑦お住まいの住宅

- 「持ち家(一戸建て)」が86.5%で最多でした。
- 次いで、「民間の賃貸住宅」が9.7%、「持ち家(分譲マンション)」が1.6%でした。



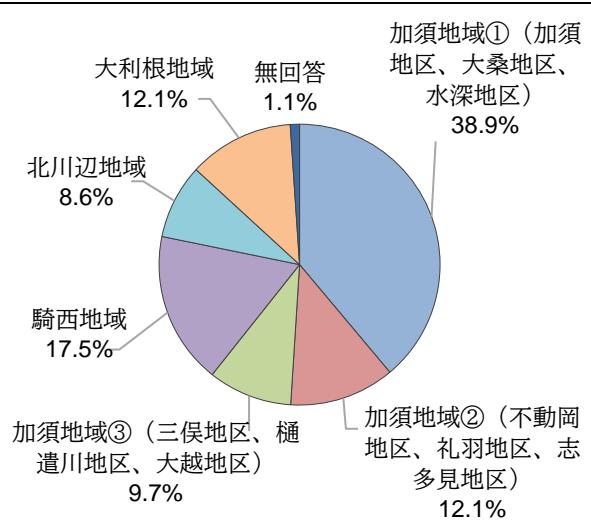
⑧居住理由

- 「Iターン居住」が29.1%で最多でした。
- 次いで、「生まれた時からずっと住んでいる」が28.9%、「通勤・通学の都合による居住」が19.7%、「Uターン居住」が11.1%でした。



⑨居住地域

- 「加須地域①」が38.9%と最多でした。
- 概ね市内の地域別人口比率と同程度の回答を得ました。



参考：居住地域

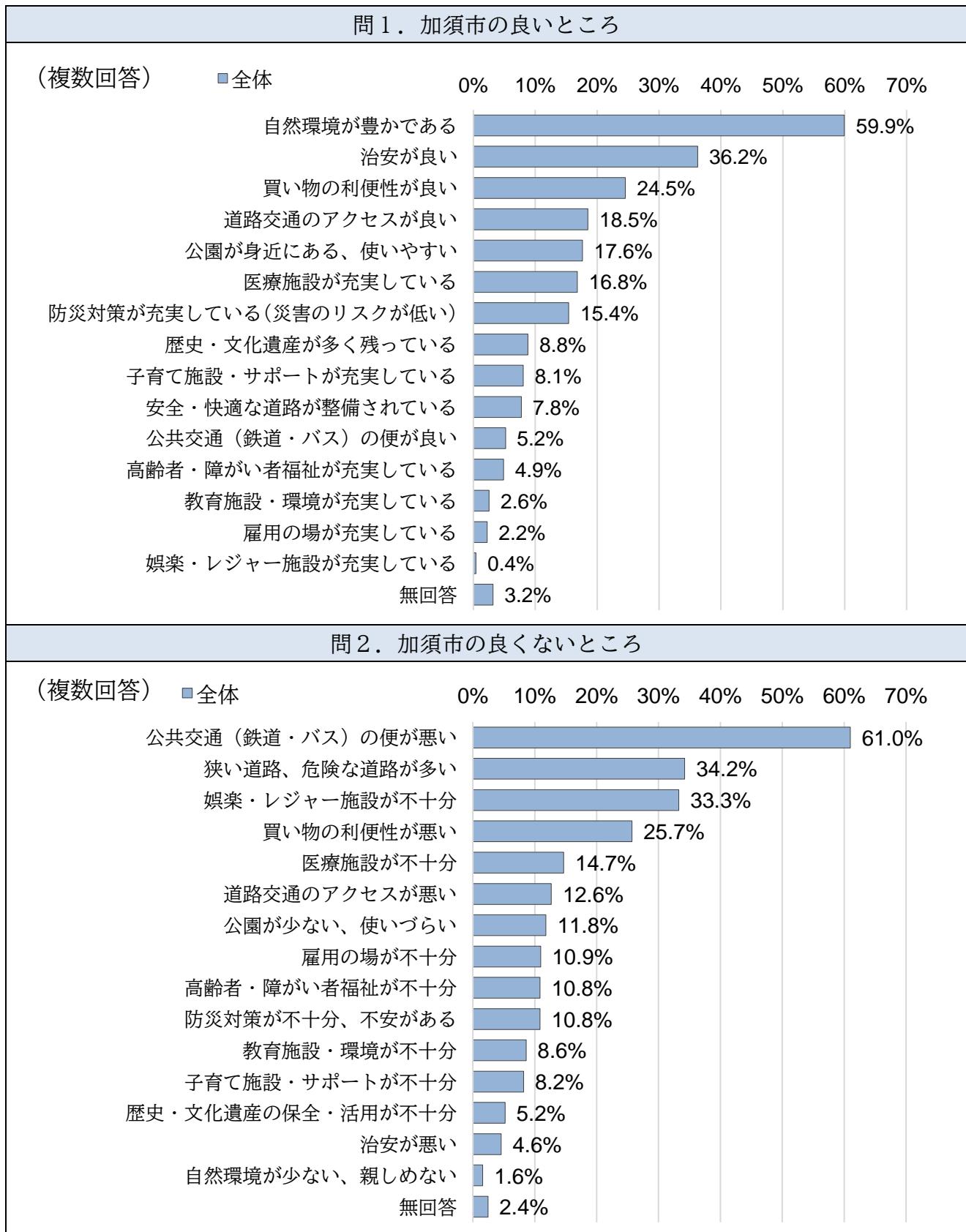


地域名	地区名	住 所
加須 地域①	加須地区	中央、本町、元町、南町、富士見町、東栄、久下
	大桑地区	川口、南大桑、南篠崎、花崎、花崎北、鳩山町、大桑
	水深地区	水深、北辻、今鉢、割目、油井ヶ島、常泉、南小浜、下高柳、船越、大室
加須 地域②	不動岡地区	不動岡、下谷、岡古井
	礼羽地区	土手、愛宕、礼羽、馬内
	志多見地区	志多見、平永、阿良川、串作
加須 地域③	三俣地区	大門町、諏訪、向川岸町、睦町、浜町、上三俣、下三俣、北小浜、多門寺、北篠崎、三俣
	樋遭川地区	下樋遭川、上樋遭川、中樋遭川、戸川、町屋新田、古川
	大越地区	大越、外野
騎西 地域	騎西地区	騎西、外川、下崎
	田ヶ谷地区	上崎、内田ヶ谷、外田ヶ谷、道地
	種足地区	下種足、中種足、上種足、中ノ目、戸室、西ノ谷
	鴻茎地区	鴻茎、芋茎、牛重、根古屋
	高柳地区	上高柳、日出安、正能、戸崎
北川辺 地域	北川辺 1 地区	飯積、麦倉、柳生
	北川辺 2 地区	小野袋、柏戸、向古河、伊賀袋、駒場、栄、本郷、陽光台
大利根 地域	東地区	旗井、中渡、新川通、外記新田
	原道地区	弥兵衛、佐波、砂原、細間、道目、新利根
	元和地区	琴寄、北下新井、北平野
	豊野地区	間口、新井新田、北大桑、阿佐間、生出、杓子木、松永新田、豊野台

2. まとめ

①市への市民の現状評価について（問1～3）

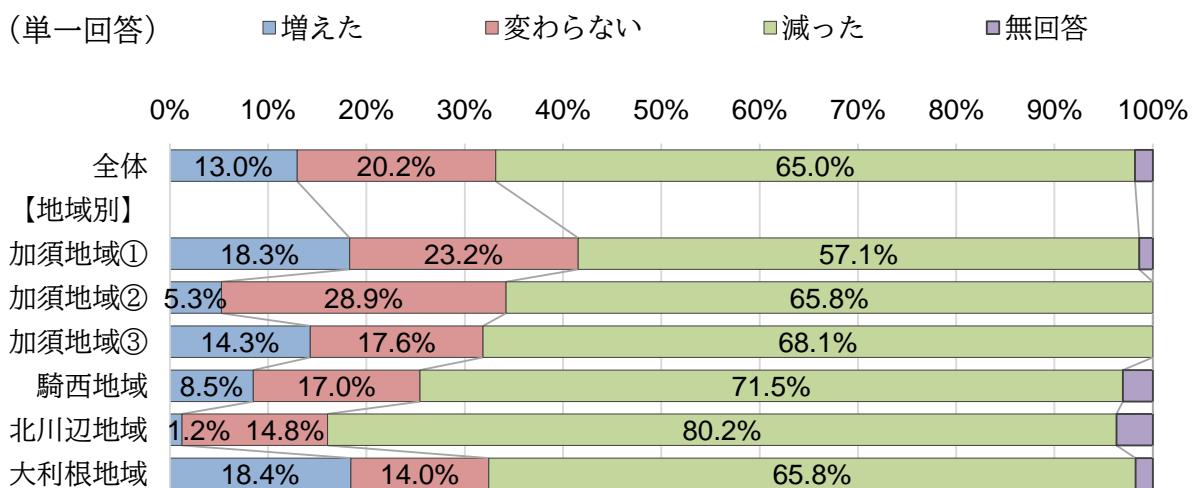
●加須市は、自然環境が豊かである一方、公共交通が不便



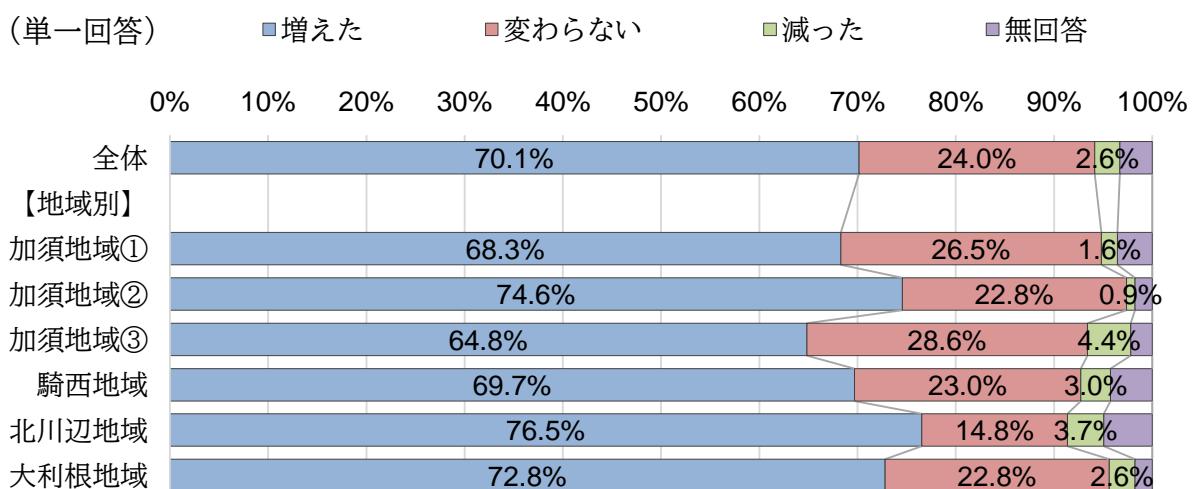
●10年前と比較した印象として、少子高齢化が進み、新しい住宅が増えた一方で、空き地や荒れ地、空き家や空き店舗が増えたと感じている

問3. お住まいの周辺環境における10年前との比較

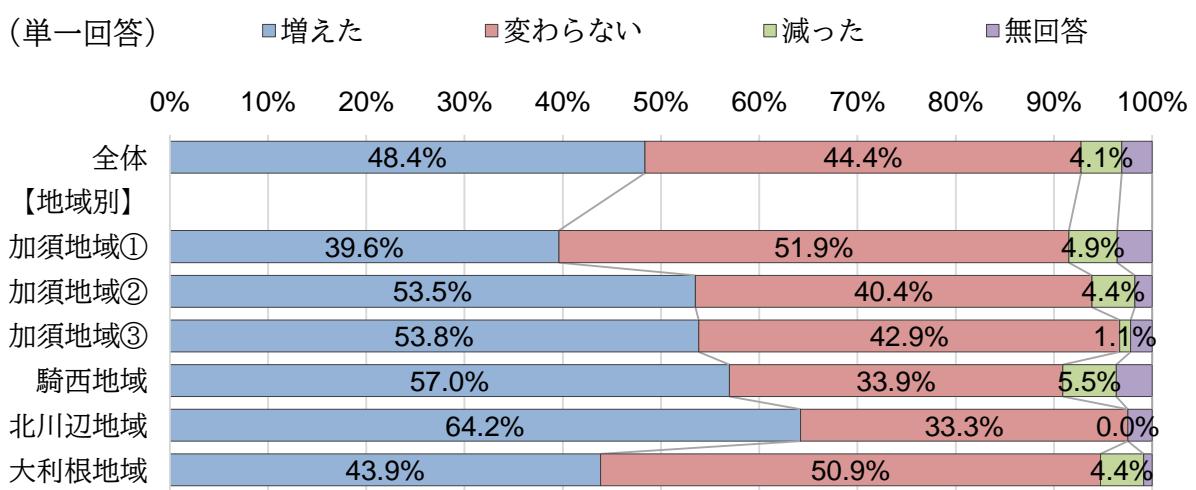
【周辺の子どもの数】



【周辺の高齢者の数】

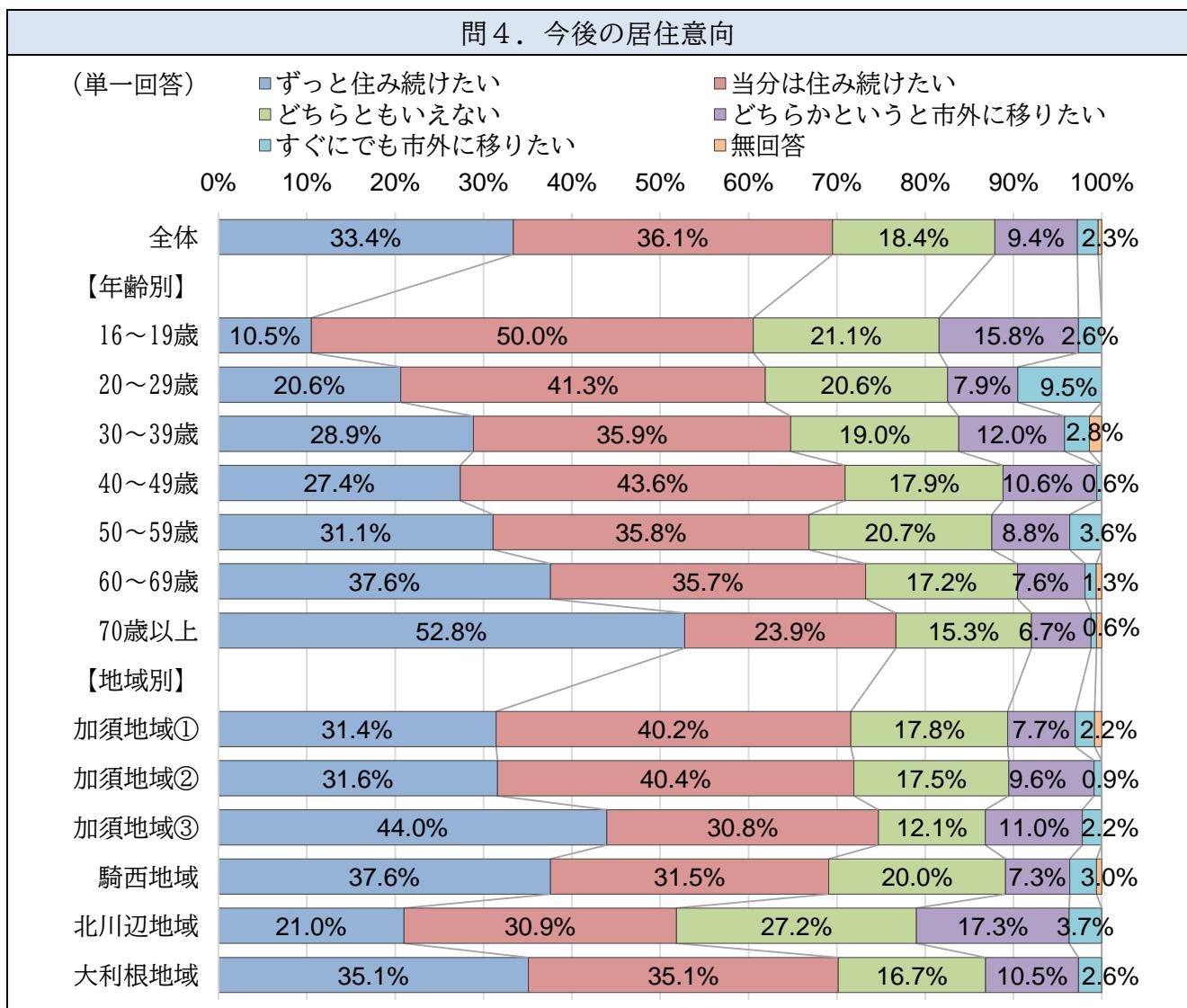


【周辺の空き家、空き店舗など】



②将来のまちのあり方への要望について（問4～5）

●今後の居住意向では、約7割が住み続けたいと回答



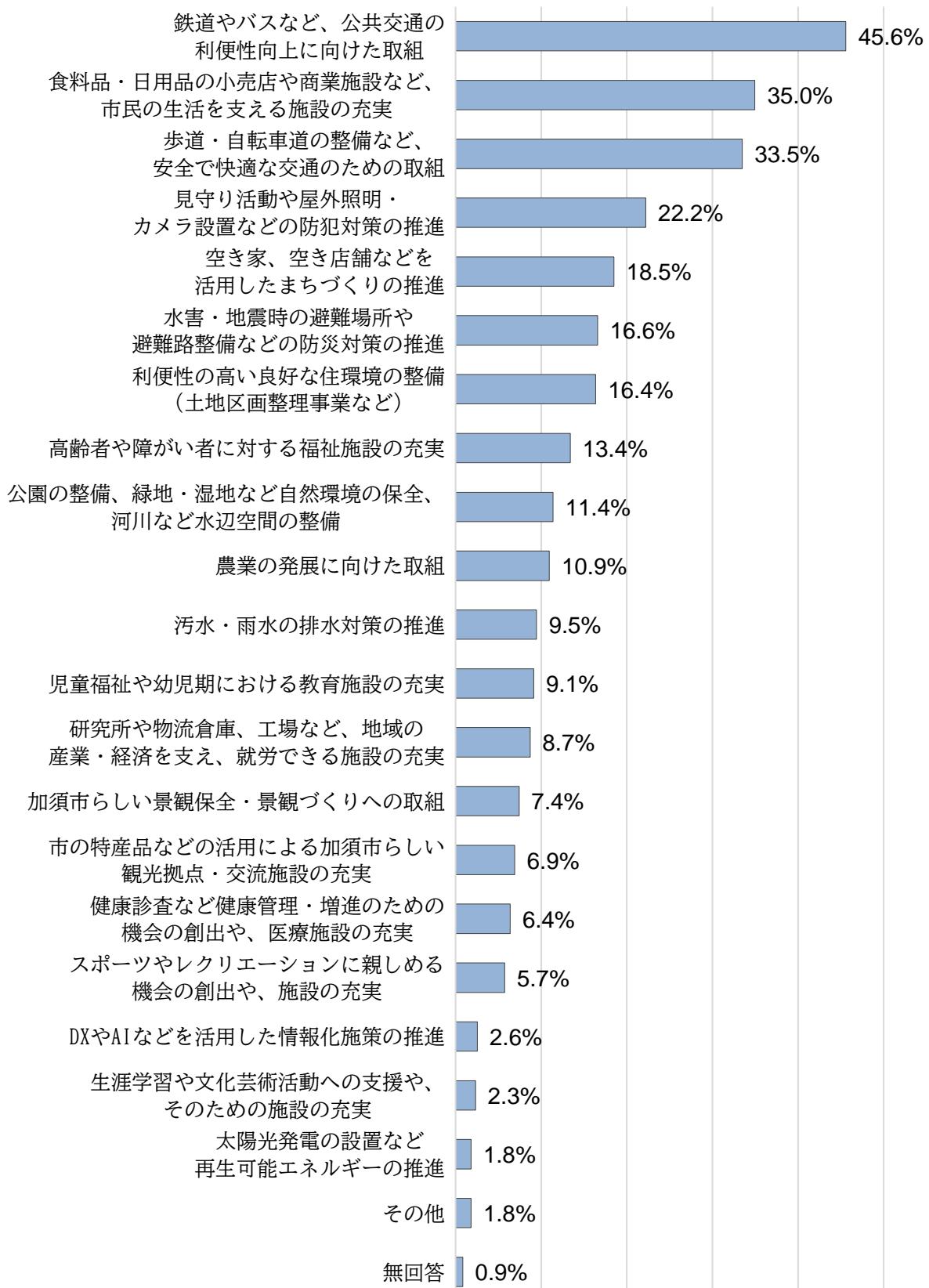
●重点的に取り組むべき施策では、「公共交通の利便性の向上」に対する割合が最も高い

問5. より良いまちとしていくために重点的に取り組むべき施策

(複数回答)

■全体

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60%

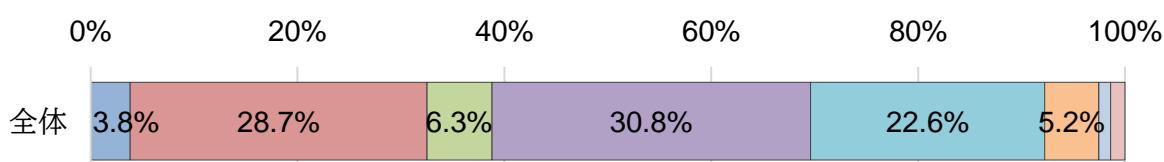


③加須市の今後のまちづくり等について（問6～16）

●土地利用では、現状の土地利用の維持・向上を図りつつ、空き地・空き家・空き店舗の有効活用に取り組むことが重要とする割合が高い

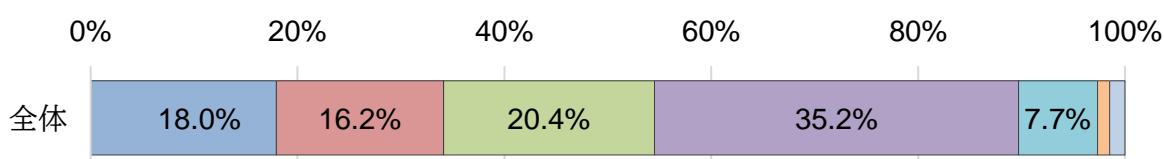
問6-①. 土地利用について重要だと考える取組（住宅地）

- (单一回答)
- 新たに住宅地を開発する
 - 身近なところに店舗などが立地する利便性の高い住宅地にする
 - 駅の周辺に居住地域を誘導させ、コンパクトなまちづくりを進める
 - 生活道路を改良するなど、現在の住宅地の環境を良くする
 - 空き地・空き家を有効活用する
 - 現在のままでよい
 - その他
 - 無回答



問6-②. 土地利用について重要だと考える取組（商業地）

- (单一回答)
- 新たに商業地をつくり、商業施設を誘導する
 - 駅周辺に大規模な商業施設を誘導する
 - 幹線道路沿いに商業施設を誘導する
 - 空き地・空き店舗を有効に活用し、現在の商業地や商店街を維持・活性化させる
 - 現在のままでよい
 - その他
 - 無回答



●生活を支える施設では、既存施設の維持・改良に取り組むことが重要とする割合が高い

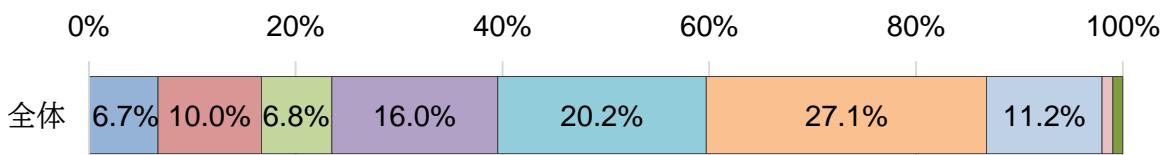
問7-①. 生活を支える施設について重要だと考える取組（道路）

- (单一回答)
- 周辺都市を結ぶ幹線道路を整備・改良する
 - 市内の地域間を結ぶ道路を整備・改良する
 - 住まい周辺の生活道路を整備・改良する
 - 自転車用の通行帯を道路に整備する
 - 歩道や照明、カーブミラーなど、安全性を高める設備を整備する
 - 段差解消や点字ブロックなど、バリアフリー化を進める
 - 現在ある道路の維持・管理に力を入れる
 - その他
 - 無回答



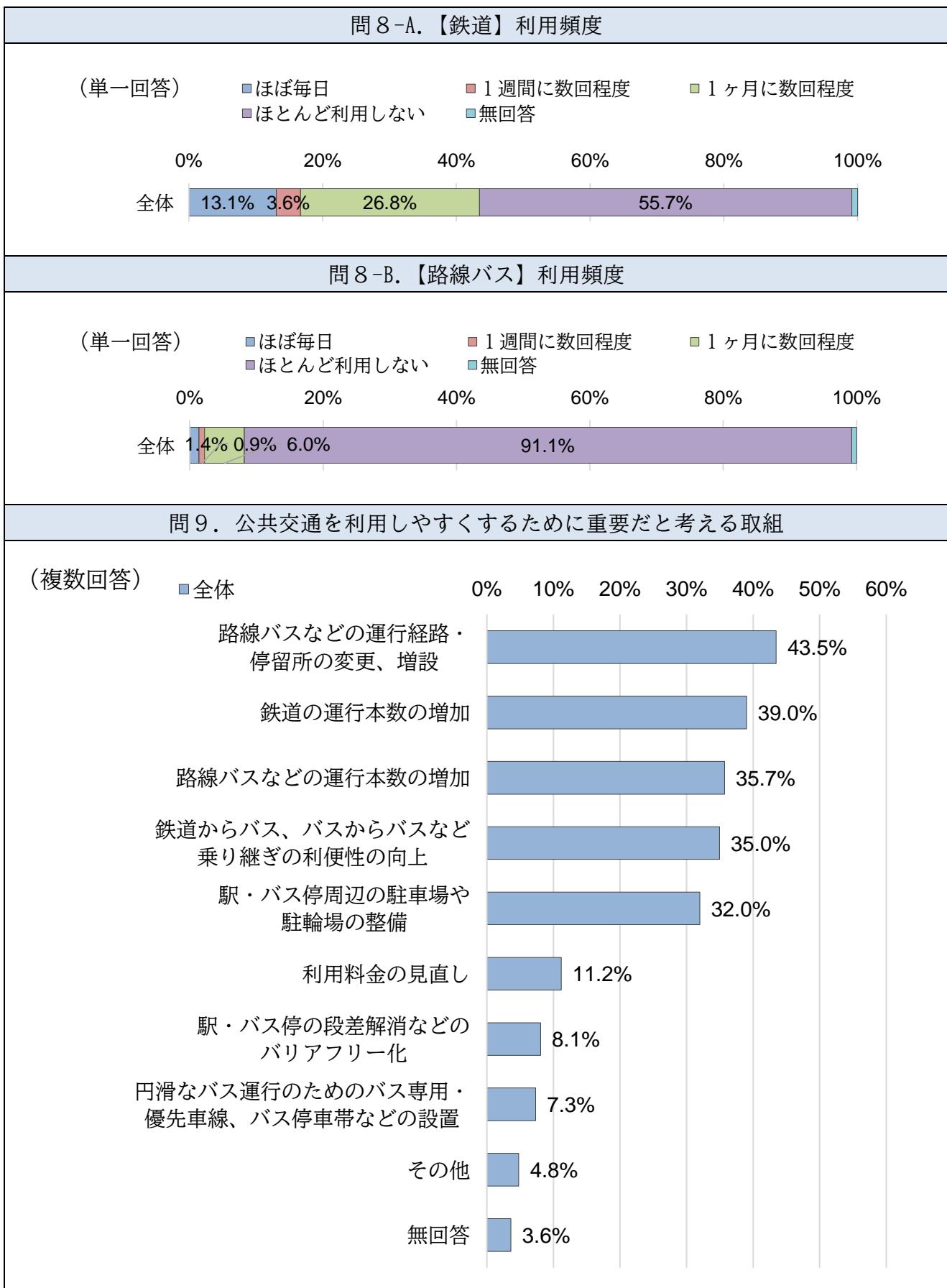
問7-②. 生活を支える施設について重要だと考える取組（公園・緑地など）

- (单一回答)
- 身近な公園や広場を新たに設置する
 - 大規模な公園を新たに設置する
 - 河川などで水遊びができるような空間を新たに設置する
 - 公園の防災機能を充実する
 - 市民ニーズを踏まえて、現在の公園をリニューアルする
 - 現在ある公園を適切に維持・管理する
 - 使われていない公園は減らしていく
 - その他
 - 無回答

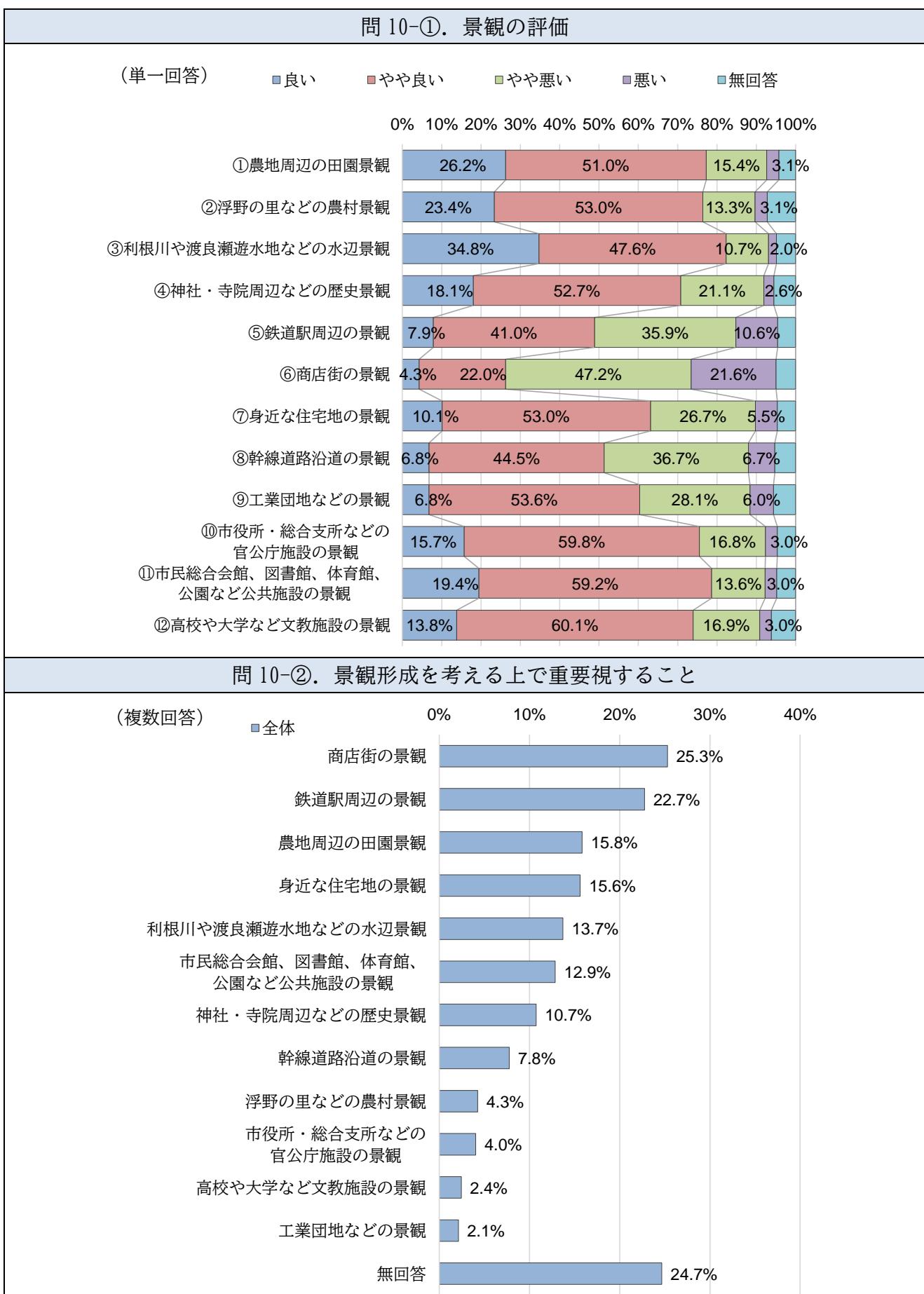


●公共交通は、「ほとんど利用していない」が、鉄道で5割強、路線バスで9割以上

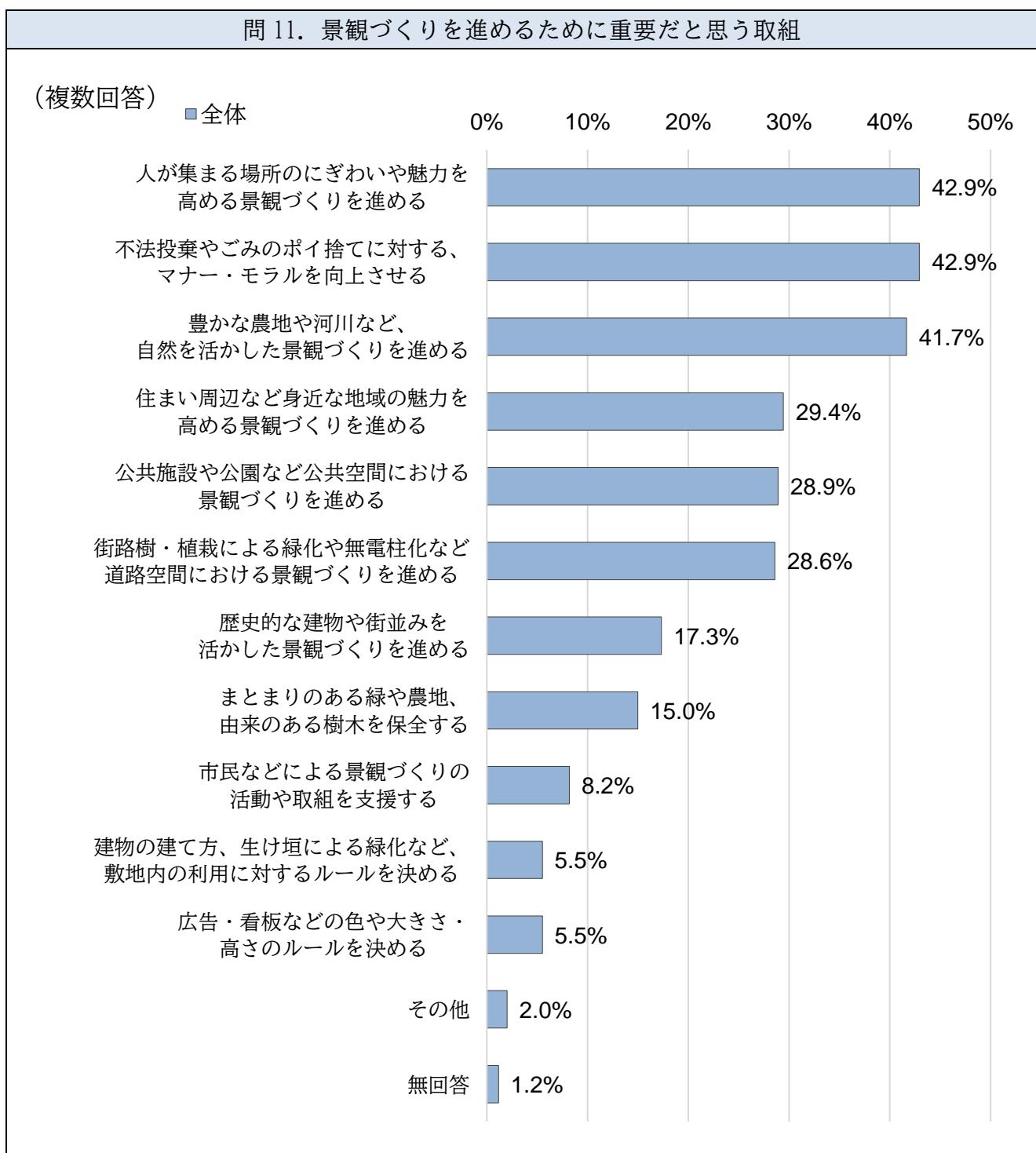
●公共交通の不便さの解消を求める割合が高い



●景観に対する評価では、水辺などの自然や公共施設などへの評価が高く、商店街や鉄道駅の景観など「にぎわいの景観」への評価が低い

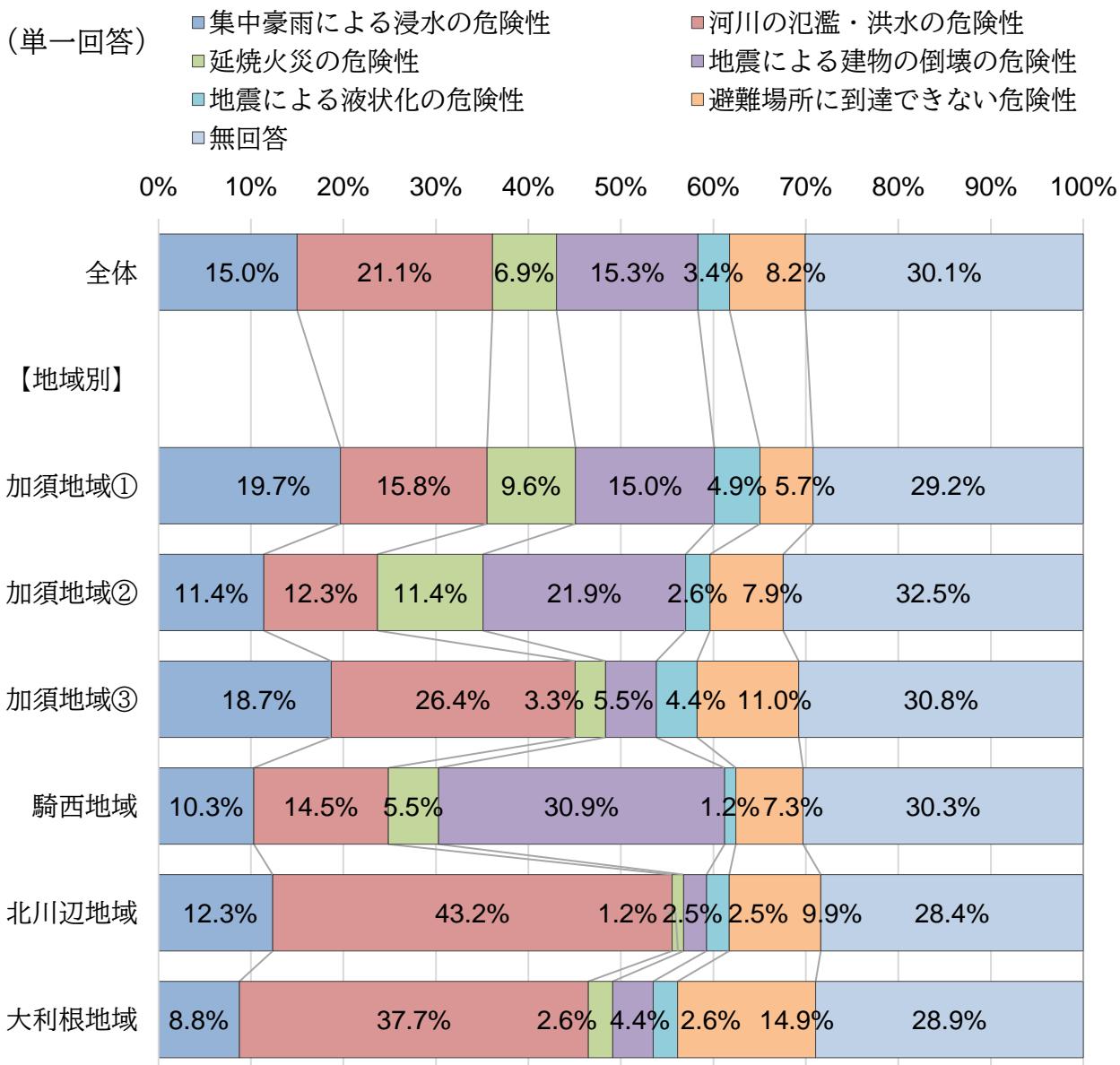


●今後の景観づくりを進めるためには、「にぎわいや魅力を高める景観づくり」「マナー・モラルの向上」「自然を活かした景観づくり」を重要だと思う割合が高い



●災害対策で重要視することは「河川の氾濫・洪水の危険性」への対策が最も割合が高く、特に利根川に近い地域での割合が高い

問 12-②. 防災対策を考える上で、対策の必要性を重要視すること



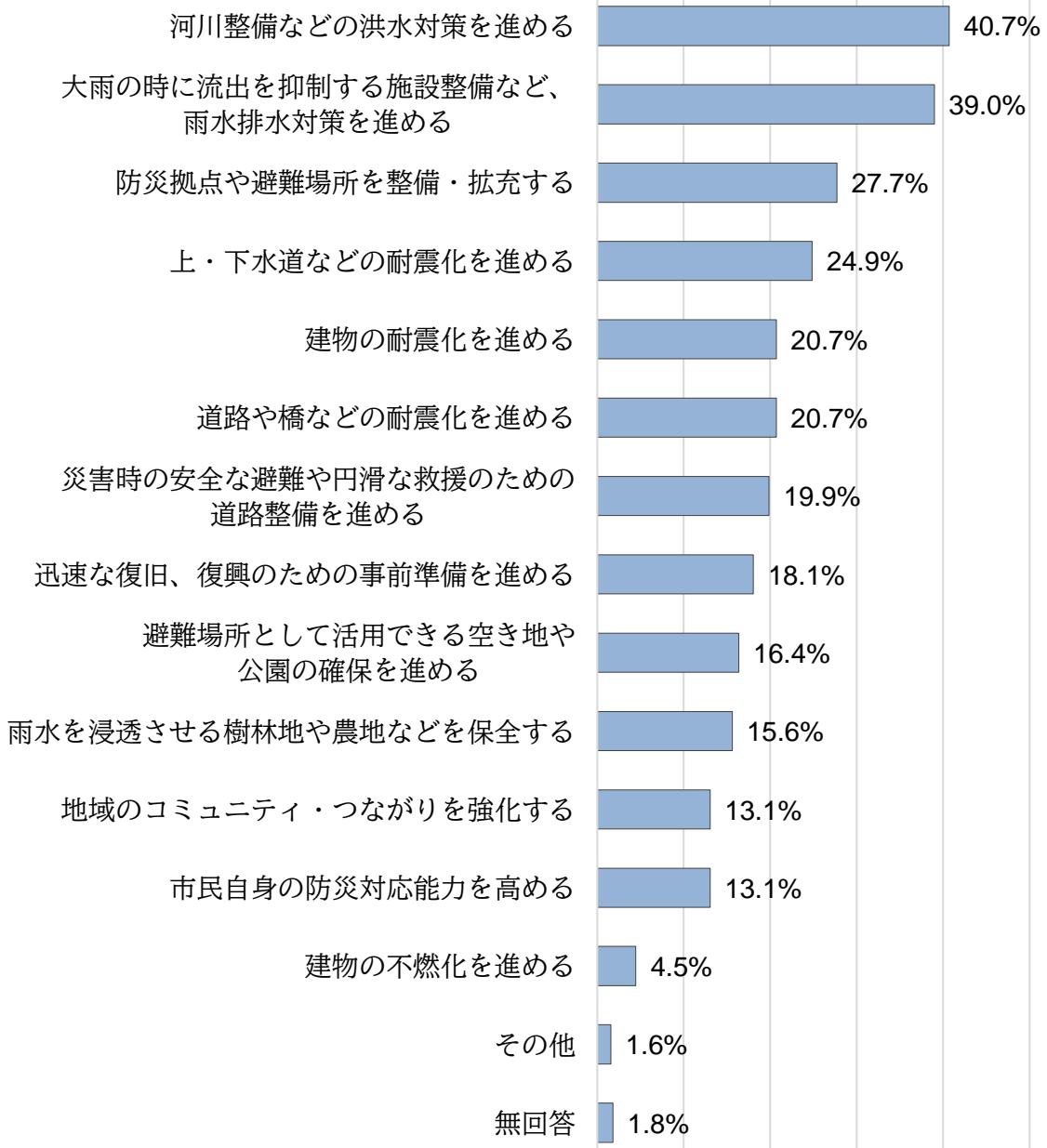
●災害に強いまちづくりを進めていくためには、「河川整備などの洪水対策」「大雨時の雨水排水対策」を重要だと考える割合が高い

問13. 災害に強いまちづくりを進めていくために重要なと感じる取組

(複数回答)

■全体

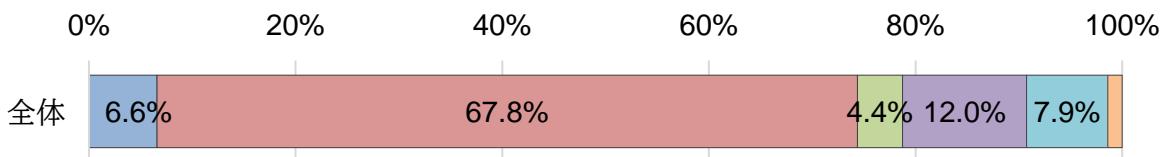
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60%



●加須駅周辺の新たなまちづくりに対する興味・関心度は、「とても関心がある」「関心がある」が7割以上ある一方で、「内容をよく知らない」が約8割を占めている

問 14. 「加須駅周辺の新たなまちづくり」に対するあなたの興味・関心度について

- (单一回答)
- 内容をよく知っているし、とても関心がある
 - 内容をよく知らないが、関心はある
 - 内容をよく知っているが、関心がない
 - 内容をよく知らないし、まったく関心がない
 - わからない
 - 無回答



●まちづくり活動への参加意欲がある方は8割を超えてる

問 16. お住まいの周りの環境を良くするためのまちづくり活動への参加について

- (单一回答)
- 自治会や関係団体の活動を通じて参加したい
 - まちづくりを議論・検討する場や説明会に参加したい
 - アンケート調査などがあれば協力する
 - まちづくりには直接参加できないが情報を受け取りたい
 - 何らかの形でまちづくりに参加したいが、どうしたらよいかわからない
 - 特にまちづくりに参加しようとは思わない
 - わからない、該当しない
 - 無回答

